



チチブと似るが、頬部の白色斑点は小さく少ない。生息環境は非常に広く、生息数も多い。

ハゼ科 チチブ属

【全長】10cm

## ヌマチチブ

学名: *Tridentiger brevispinis*

分布域

日本全国に分布する。

生息域

汽水域～河川上流域・湖沼などで  
生息環境は非常に広い。



ヌマチチブの幼魚。全長約4cm

チチブと似るが頬部に散在する白色斑点が小さくまばらで、尾柄部がやや細い。胸鰭基部の三日月斑の中央部にオレンジ色の線が視られる。オスは成熟すると第1背鰭の棘条は糸状に伸び、メスと未成魚では伸びない。体色は赤味を帯びた茶褐色。体色や胸鰭基部の三日月斑紋は青白く環境で変化し、オレンジ色の線も消える。食性は雑食性で藻類や底生動物を食べる。産卵期や産卵生態はチチブとほぼ同じ。生息環境は非常に広く、汽水域～河川上流部まで、広い環境に生息する。

水槽での飼育は丈夫で飼いが易いが、性格が荒く、複数飼育や多種との混泳には向かない。相手をボロボロにする。単独飼育をお奨めする。

在来種

純淡水魚

汽水魚

※ 気性は非常に荒く、自分より体の大きい魚でも鱗をかじりボロボロにしてしまう。口に入るサイズなら食べてしまう。飼育は単独飼育が無難。飼育水は真水で十分。配合飼料も食べる。